

# のびやか



・・・シリーズ 「整形外科から」 第4話・・・

## 脳性麻痺児の足の変形について2



青い鳥医療福祉センター リハビリテーション科長 栗田 和洋

先回、脳性麻痺児の尖足の特性について書きましたが、今回は当センターで行っている尖足治療について書いていきます。いくつかの方法を書きますが、実際には一つの方法だけでなく、これらを組み合わせています。

### 【ストレッチング】

まず、幼少期に足首が硬いと判ったら、まず脛脛（ふくらはぎ）の筋肉を伸ばすストレッチングが行われます。小さいこどもは自分ではできないので、御両親やセラピストが行うこととなります。手でもって足関節を背屈させて脛脛の筋を伸ばします。脳性麻痺児では大腿骨の下端と踵をつないでいる腓腹筋の緊張が高いことが多いので、膝を伸ばした状態で行う方が有効です。そして、あまり強く力を込めると筋や腱をいためないとも限らないので、力加減が大切です。痛がる手前くらいが適当と考えられます。柔軟体操のように勢いをつけて行うのではなく、ジワッと伸ばす感じで行うことを勧めます。また、つま先だけを押しえて背屈を強制すると、こどもの関節は弱いため、足の中ほどの関節がずれて、外返しを伴った見かけ上の背屈（筋はあまり伸ばされません）が起こり、外反足という新たな変形を生じてしまうこともあります。脳性麻痺児ではもともとの緊張で外反が生じる場合があり、そのような時には助長してしまうこととなります。これは進行すると通常の靴が適合しなくなることや、荷重に際して痛みを生じる変形であり、私どもでは予防の為に、足部を内返し（内反）しつつ背屈させるというストレッチングを勧めています。お風呂の

後など筋肉がリラックスしている時に行うとよいでしょう。どれだけやればよいか、というのは一人一人異なるので一概には言えません。私は背屈して10秒数えて緩める、を5回やるように、などと説明しますが、いためない程度に多くすればするだけ効果があると思います。自力で立てるようになれば、壁に手をつけて片足を後ろに出し体重をかける脛脛のストレッチングがあります。これは少しの時間で一人で簡単にできる方法です。これも勢いをつけずにジワッと行う必要があります。こどもにこれをする様に言うのですが、なかなか実行してくれません。保護者の方にはしつこく言い聞かせてもらわないといけません。

（2ページに続く）



### 目次：

シリーズ「整形外科から」	1~2
外来診療部コーナー	3
青い鳥コーナー	3
「障害者自立支援法」が施行されて	4~5
読書コーナー	5
親の会の紹介	6~7
掲示板	8



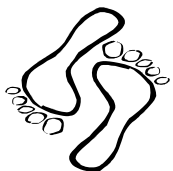
### 【装具療法】

次に装具療法です。夜間用シャーレと呼んでいますが、マジックベルトがついたプラスチック製の尖足予防装具があります。これを夜間つけることで寝ている間に脛脛の筋肉が短縮してしまうのを防ぎます。夜間に限らず装着すれば、さらに効果はあがるでしょうが、足部の動きが制限されるので日常の座位姿勢や床上動作の妨げになるかもしれません。また、装着にはこどもの忍耐が必要です。自分でベルトをはずしてしまう、という事もよく耳にします。そして、夏になれば汗で蒸れてしまい、水虫などのトラブルの原因にもなります。また、夜間装着するタイプではなく、尖足を矯正して歩き易くするための装具もあります。簡単な物であれば半長靴といってバスケットシューズのような形をした足首を制動する装具があります。軽い尖足であれば、尖足をおさえ歩行時の安定性が増すことが期待できます。強い尖足であれば、シャーレや金属支柱がついた靴で尖足を矯正し歩き易くする方法があります。脳性麻痺児の尖足では、大抵の場合内反（内返し）や外反（外返し）を伴っています。それは装具を作成する上で非常に大切なことであり、それらの変形も矯正して安定した支持足を作る必要があります。

外反足の場合、足の内側に荷重が集中し足の内側の痛みや傷を生じやすく、また、内反足では足の外側に荷重が集中し痛みを生じることがあります。装具作成時にはそれらの変形を考慮した物を作る必要があります。注意を要します。また、こどもの身体は成長が早いので、小さくなった装具を着け続けて足を痛めることの無いようにサイズの確認を時々しなければいけません。

### 【ギブス療法】

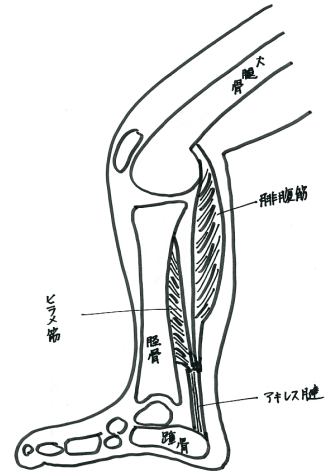
歩行ギブスによる尖足矯正も行っています。脛脛の筋肉が短縮し尖足になった状態を一期に矯正できるわけではないので、2から4週間かけて徐々に矯正していきます。長靴のようなギブスを巻いて矯正します。尖足位で巻いた場合でも「ゲタ」という、木で作ったヒールを足底に巻き込み、踵に荷重できるようにして歩きやすくします。勝手にはずすことはできませんので、こどもにとってはストレスの多い治療となります。そして屋内や屋外を巻いたまま過ごすのですから、御両親もそれなりの覚悟が必要でしょう。しかし、手術にはかからないませんが、矯正に関してはかなり効果があります。手術は頻繁に繰り返すわけにはいきませんが、このギブス矯正は再発すれば頻回に繰り返すことが可能です。大抵の場合は、ギブス矯正の後、装具療法を続ける必要があります。



### 【手術療法】

そして、手術治療です。手術はやはり最後の切り札といきましょうか、先に書いた保存的治療では尖足が制御しきれず、歩行能力に大きな影響を及ぼしている場合に選択されます。以前、尖足の手術といえばアキレス腱延長という手術が多く行われていました。アキレス腱は腓腹筋、ヒラメ筋の共通腱です。これを延長した場合、必要以上に底屈力が弱まり歩行能力が低下してしまうことが頻繁に見られたそうです。理由として考えられているのは、脳性麻痺児において緊張が高い腓腹筋のみでなく、立位保持のためにとっても重要な働きをしているヒラメ筋も同時に延長してしまうということです。

(右図参照)



結果、立位保持能力が低下してしまうのです。そのため現在では、腓腹筋のみを延長して緩める手術が行われています。また、脳性麻痺児は膝や股関節の屈曲緊張や変形があり、かがみ姿勢となりがちです。足関節だけで尖足を矯正しても、それだけではかがみ姿勢のためにつま先荷重となり、踵が浮きやすい状態となります。

そこで、当センターでは股・膝関節の屈曲変形も緩めて下肢全体のバランスを整える多部位同時手術という手術を行っています。また、尖足に伴う内反、外反変形に対してはそれぞれ内側の後脛骨筋、外側の腓骨筋を緩めることで矯正を行います。筋の緩め方は、いろいろありますが、当センターで行っている方法は主に2通りです。収縮して力を生み出す赤い筋肉は直接骨につながっているのではなく、腱という伸び縮みしないヒモ状の組織を介して骨につながっており、筋肉の力は腱を通して骨に伝わり関節の動きを起こします。筋肉と骨の間にある腱を切ってしまう方法と、筋肉に入り込んだ腱を切断して筋を緩める方法があります。手術ではこれらを組み合わせて行っています。ただし、手術により筋に侵襲を加えることや術後のギブス固定によっても筋力低下が生じます。手術のやり方によっては足の蹴る力などが大きく弱まり機能低下に陥る可能性もあり、術後は早期からしっかりとリハビリを行わなければなりません。当センターではこの点に充分気をつけて手術を行っています。

以上、当センターで行っている治療法について書かせていただきました。

## 外来診療部コーナー

### 『何がいるかな?』～外来の扉から～

ここ数年の間に大幅に外来スタッフの顔ぶれが変わり、利用者様には戸惑われた方も多かったことと思います。外来スタッフが一新してから、時間を見つけては壁面の作成に取り組んでいます。お気づきになりましたか？

- ☆処置室内の身長計横の壁 『ひよこ』
- ☆小児科診察室 『ミッフィー』と『ひよこ』
- ☆耳鼻科診察室 『キリン』
- ☆訓練前診察室 『アンパンマン』 『バイキンマン』



さて整形外科、リハビリテーション科の診察室には何が・・・???  
 今後も利用者様にとって楽しく、そして安心して診察を受けて頂けるように雰囲気作りに取り組んでいきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

外来看護師 酒井田有希子

## 入所部門

### 重症心身障害児・者棟 ひまわり西棟

#### ～12月にクリスマス会を行いました!!～

平成18年12月9日(土)にひまわり西棟でクリスマス会が行われました。今回は、クリスマスソングにあわせて身体をマッサージするようにスキンシップを図る『ふれあい』の時間を取り入れたり、綿をペタペタ貼り付け、帽子やマフラーで職員を雪だるまに変身させていく「雪だるまつくり」など利用者さまとご家族が楽しんで一緒に活動できるものを考えました。



ケーキを食べる場面ではちびっこサンタが登場しそれぞれのケーキに点灯。かわいいサンタさんが順に回ってくると自然とみんな笑顔に。おいしいケーキを食べた後は、職員によるサンタとトナカイの寸劇。ぶっつけ本番に近かったのでドタバタしながらもなんとか乗り切ることができました。当日は、たくさんの家族の方にご参加いただき、楽しく和やかな雰囲気の中で終わることができました。

(保育士 田口幸子)

### 肢体不自由児施設 なのはな棟 作品紹介

#### ～頑張って描いたので作品展にも出展しました～



## 「障害者自立支援法」が施行されて

これまで、障害者自立支援法の概要を掲載してきました。「障害者自立支援法」が施行される前から、「応益（定率）負担に変わり、負担が増えるのではないか」「これまで受けてきたサービスを継続して利用できるのか」といった不安の声がありました。

実際に施行されて、「制度が変わったが、今までと変わらず利用できている」「近くに新しい事業所ができた」と、サービスをうまく活用されている方と、「負担金が大きくなり利用しにくくなった」「どのようなサービス（事業所）があるのか分からず、利用していない」と、サービスをうまく活用できていない方がみえるようです。

青い鳥に通われている方からも、「児童を対象にした日中活動の場を教えてほしい」という話がよくあります。サービス（事業所）の情報をすることで、少しでも利用しやすくなるのではないかと考え、今回は海部津島圏域の日中一時支援事業、児童デイサービスの事業所をまとめました。まだ、把握していない事業所や、圏域外でも利用が可能な事業所もあるかと思っておりますので、新しい情報がありましたら、次号以降で紹介していきたいと考えております。

### ◆◆◆海部津島圏域の事業所（児童を対象とした日中活動の場）◆◆◆

#### ◆◆◆日中一時支援事業・児童デイサービス◆◆◆

児童サポートセンターのびのび	地域生活支援事業（日中一時支援事業） 送迎あり	
〒496-0805	利用日	時間
津島市本町3丁目66番地1	月～木曜日	午後2時30分～午後5時30分
電話 0567-26-1357	土曜日	午前9時30分～午後4時30分
FAX 0567-26-1357	長期休暇	午前9時30分～午後4時30分（月・火・土曜日）
E-mail peek-a-boo@s4.dion.ne.jp		午後2時30分～午後5時30分（水・木曜日）
URL <a href="http://peek-a.boo.jp/">http://peek-a.boo.jp/</a>	利用が可能な地域	津島市、愛西市、弥富市、海部郡、稲沢市
	対象	小学生
* 乳幼児を対象に、母子通園を基本とした児童デイサービスも実施しています。		
びーの	月～金曜日	午後2時30分～午後6時
〒496-0815	土曜日	午前9時30分～午後5時
津島市米之座町2丁目14番地3	長期休暇	午前9時30分～午後5時
電話 0567-26-1205	利用が可能な地域	津島市、愛西市、弥富市、海部郡、稲沢市
FAX 0567-26-1205	対象	中・高校生

夢んぼ	地域生活支援事業（日中一時支援事業） 送迎あり	
〒496-0901	利用日	時間
愛西市佐屋町堤西45-4	月～金曜日	午後3時～午後6時
電話 0567-25-5913	土曜日	午前10時～午後3時（中・高校生：～午後4時）
FAX 0567-25-5913	長期休暇	午前10時～午後4時
E-mail yumenbo@s6.dion.ne.jp	利用が可能な地域	津島市、愛西市、弥富市、海部郡、稲沢市
URL <a href="http://www.k3.dion.ne.jp/~yumenbo/">http://www.k3.dion.ne.jp/~yumenbo/</a>	対象	小・中・高校生
* 乳幼児を対象に、母子通園を基本とした児童デイサービスも実施しています。		

ほほえみの街 ハッピークラブチャオ	地域生活支援事業（日中一時支援事業） 送迎あり	
〒498-0011	利用日	時間
弥富市荷之上町焼田新田528-13	月～土曜日	午前10時～午後6時
電話 0567-67-6900		
FAX 0567-67-6909	利用が可能な地域	津島市、愛西市、弥富市、海部郡
E-mail happyclub-ciao@banpaku.net	対象	幼児・小・中・高校生
* 居宅介護（ホームヘルプ）・移動支援も実施しています。		

ネバーランド つしま	介護給付（児童デイサービス） 送迎あり	
〒496-0026	利用日	時間
津島市唐臼町郷裏77番地1	毎日（年中無休）	午前10時～午後6時
“昭和の時代”内	利用が可能な地域	（送迎あり）津島市、愛西市、弥富市、海部郡
電話 0567-33-2100		（送迎なし）一宮市、稲沢市
FAX 0567-33-2123	対象	小・中・高校生
E-mail yes-neverland@hotmail.co.jp	利用料金	4,070円（利用者負担 407円）
	送迎	片道につき 540円（利用者負担54円）
* 居宅介護（ホームヘルプ）も実施しています。今後、ショートステイも実施する予定です。		

【海部津島圏域にお住まいの方の日中一時支援事業の利用料金表】

4時間以下の場合	4,000円（利用者負担 400円）
4時間を越える場合	5,000円（利用者負担 500円）
時間外の利用	1時間につき 630円（利用者負担 63円）
送迎	片道につき 540円（利用者負担 54円）



**\* 時間外のご利用、私的契約のサービス等、詳しくは各事業所にお問い合わせください。**

「こんな事業所がある」「こんなサービスもやっている」といった情報がありましたら、青い鳥までお知らせください。皆さんの情報を整理し、提供していけたらと考えております。

青い鳥医療福祉センター 地域療育担当 尺土（しゃくど）

電話 052-501-4079 FAX 052-501-4085 E-mail aoitori@bk9.so-net.ne.jp

## 読書コーナー

「いたいなのいたいのとんでいけ！」

山岡ひかる 著

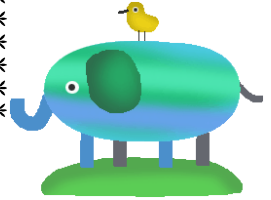
「いたいなのいたいのとんでいけ～！」子どもの頃、転んだ時おまじないをつかった覚えがあります。この絵本は、ねこやいぬなどいろいろな動物に「いたい」がとんでいきます。

最後はかみなりさまが「いたい」を食べてくれます。まわりのお友達が「いた～い」と泣いていたら・・・「いたいなのいたいのとんでいけ～」とおまじないをしてあげてくださいね。

（保育士 服部由紀子）



# 親の会の紹介 ①



☆海部津島地区  
☆清須市

「ひよこグループ」  
「わたっこクラブ」

訪問記

今回から「親の会」の紹介を順にしていきたいと思っています。海部・尾張圏域では、多くの親御さんたちが地域で「親の会」の活動をされているようです。どんな場所で、どんな目的でどんな活動をされているのかななどを紹介できればと思います。第1回目の取材は、海部津島地区の「ひよこグループ」と清須市西枇杷島町の「わたっこクラブ」におじゃまさせていただきました。

## 【ひよこグループ】

「ひよこグループ」は、海部、津島地区の障害を持っている子どもとお母さんたちの自主グループです。毎週金曜日の午前10時から12時まで津島市身体障害者センター彩雲館で活動されています。

第2金曜日は、「親子のふれ合い会」を行い、第2金曜日以外は、「親のお話し会」を行っているそうです。その他の活動として、夏休みにはバーベキュー、冬休みにはクリスマス会が行われ、兄弟も参加しているとのこと。

今回は、「親子のふれ合い会」取材させていただきました。「親子のふれ合い会」は青い鳥医療福祉センターが行っている巡回相談に参加し、相談に来られた方と一緒に活動されています。巡回相談は、10時頃から子どもとお母さんたちが集まってきます。はじめは2~3人で話しながら子どもたちが自由遊びをしていました。徐々に人数が増えてきて、遊んでいる子どもたちを中心にお母さんたちの輪が広がっていきました。地域の関係者やボランティアさんも加わり、はじめて相談に来られた方も、みんなの輪の中に自然に入っていました。

活動がはじまり、お始まりの歌、名前呼び、マッチング、手遊びと進んでいきました。「期待して待っているね」「にぎやかな雰囲気が苦手なのかなあ」と、子どもたちの様子や思いをお母さんと確認しながら行われていました。

この日は、「クリスマス会」ということで、鈴やベル、ウインドチャイムなど様々な楽器を使った音楽遊びを行いました。きれいな音色の楽器に興味津々な子もあり、にぎやかな音楽会となりました。続いて、シートに乗って身体を揺らすシートブランコを行いました。激しい動きが好きな子や緩やかな動きが好きな子、シートブランコはみんなが大好きな遊びで毎回行われているそうです。

活動の前後で、「ひよこグループ」のお母さん方から話を聞くことができました。15年位前は、身体的な障害を持つ子どもが通う場所がなく、お母さんたちが自主的に活動を始められたそうです。同じような境遇の人が集まり、輪がどんどん広がっていきました。

はじめは身体的な障害を持つ人が多かったようですが、対象を限定することなく受け入れており、現在は、



津島市、愛西市を中心に9名の乳幼児が参加されているそうです。就学したOBを含めると、16名が所属されているとのこと。

第2金曜日以外は、お母さんの育児の悩みや情報交換を中心に「親のお話し会」を行っているそうです。他の人にはなかなか話せない思いを聞いてもらえて、わかってくれる仲間。また、就園・就学や保育園・学校での話など、自身の経験談を話してくれる先輩お母さん。育児の不安や悩みを話し合える「親のお話し会」は、お母さんたちにとって「ストレス発散の場」となっているそうです。海部児童相談センターや海部事務所・津島市の家庭相談員の方が交互に参加し、相談や助言もいただけるとのこと。

保健師さんの紹介や、巡回相談で声をかけてもらって「ひよこグループ」に出会ったというお母さんたち。発達の遅れや障害について不安な時に「ひよこグループ」に出会って、「本当にありがたかった」と、お母さんたちは話されていました。自分たちと同じように、育児の不安や悩みを抱えているお母さんたちにも、「ぜひ遊びに来てほしい」と話されていました。

取材が終わった後も、お母さん方の輪はなかなか消えず、この後も「昼食も一緒に行く」とのこと、お母さんたちにとって「ひよこグループ」は居心地のいい場所なんだなあと感じました。

尺土 匡史

### ◆◆巡回相談とは◆◆

青い鳥から年に8回程(第2金曜日)、医師・看護師・訓練士などが地域へ出かけ、発達相談・療育指導を実施しています。言葉の遅れや運動の遅れが気になる方や、知的・身体的な障害の心配な方を対象としています。

青い鳥が県の委託を受け、海部児童相談センター・海部福祉事務所のご協力をいただいております。

対象地域：津島市・愛西市・弥富市・海部郡

\*詳しくは 青い鳥 地域療育担当までお問い合わせください。(TEL 052-501-4079)

## 【わたっこクラブ】

取材の日は、5名のお母さん方と会員・兄弟の2名のお子さんが参加、温かく和やかな雰囲気のなかでお話を聞かせていただきました。はじめての場所、最初の出会の場面は、誰でも少なからず緊張すると思いますが「この雰囲気ならはじめてのお母さんも安心して参加できそう」「気持ちを温かく受け止めてもらえそう」という第1印象を受けました。参加されたお母さんたちの表情はやわらかく、ほんわかと子育てを楽しんでいる(実際にはいろいろ悩んだり、苦勞されることも多いと

思います・・・)という印象を受けました。

#### ◇わたっこクラブの立ち上げ

平成12年4月に旧西枇杷島町に待望の母子通園「たんぼぼ園」が開設されました。たんぼぼ園に通っていたお母さん方が自分たちで(園の先生の後押しもあり)、親の会として立ち上げ、平成13年9月に13家族で活動をはじめました。



はじめの頃は、12月のクリスマス会に向けて集まってハンドベルの練習をすることや集まってお話をしていたようですが、年間のイベントや、デイサービス、勉強会への参加などどんどん活動内容が増えていったそうです。

「わたっこクラブ」の名前は、ポケモンのキャラクターの名前からとったそうです。たんぼぼの綿毛から飛びたっていく子どもたちを表したようなふんわりやさしいイメージです。対象者は、幼児期～学齢期の障害のある子ども、サポートが必要な子どもとその子を応援する家族や周りの人たちです。障害者手帳などの有無は問わないそうです。現在は、年少児さんから中学3年生までのお子さんとその家族が会員になっています。

#### ●活動内容

##### ◇常会

月に1回、清須市西枇杷島にある社会福祉協議会のボランティアルームにて10時～12時に常会(座談会)を開いています。参加者は、6～7名のことが多いそうです。子育ての悩み、社会福祉制度やヘルパー事業所の情報交換、子どもたちの将来にむけて(就園・就学・進路)、地域とのつながり作り・見学の企画、市(町)への要望したいこと、イベントの企画などいろんなことを気軽に話し合い・・・泣いたり笑ったり、励ましあいながら今日まで活動してきたそうです。話しが止まらないことが多く、予定時間を毎回のようには延長しているようです。

##### ◇イベント

お花見、夏祭り、夏休みのデイサービス、クリスマス会など・・・たくさんのイベントがあります。

年に一回のフリーマーケットは、会員の交流や楽しい時間であると同時に運営に必要な費用の確保にも役立っているそうです。イベントの参加は、お父さんや兄弟の参加も自由でみんなでわいわい活動しているそうです。お父さんたちだけの飲み会もあるようです。どんな話をしているのでしょうか・・・

##### ◇夏休みのデイサービス

「わたっこクラブ」のメインともいえる活動です。会員のお子さんたちは、学校から帰ってきたあとや長期の休みに遊べる友だち・場所が少ない現状があります。夏休みは、子どもたちにとっていろいろな経験をして成長できるチャンスでもありますが・・・親子で過ごす時間が極端に増えるため、親子にとって時にストレスになることもあります。いつも親子と一緒に過ごすのでなく将来を見据え「地域の中で親と離れて過ごす時間、子

どもだけで過ごす時間」が必要という思いではじまりました。

平成17年から「デイサービス」として、企画・運営・準備、当日スタッフなどの分担をして、学生ボランティアなどの協力も得て、夏の数日間を過ごしたそうです。活動場所の確保など苦労も多かったようですが、18年度はさらにパワーアップした活動を行ったそうです。長い休みのなかの数日間ですが、親子ともにリフレッシュでき、有意義な時間となっているようです。

##### ◇地域とのつながりづくり

「わたっこクラブ」は、「ボランティア団体」としても登録しており、卒園児のお母さんたちがたんぼぼ園でボランティア活動をしています。他のボランティア団体との情報交換や交流の機会も増えました。その他にも他の市町村の親グループなどとのつながりが広がっていているようです。

最後にお母さんたちにふたつの質問してみました。

☆お母さんたちにとってわたっこってどんな存在？

「楽しい場所！」「活動が生きがい！」

「同じ悩みを一緒に話し合える」

「前向きなメンバーから刺激を受け、学ぶことが多い」

「他の兄弟のママ友だちには話せないこともここではなんでも気軽に本音で話せる」

「1つの投げかけに対して、たくさんの方の考えが聞けて勉強になる」

「わたっこの活動が生活の一部になっている」

「他の兄弟も一緒に活動に参加できるのがうれしい」

☆これからどんな「わたっこ」にしていきたいですか？

「自分たちで作りに上げていくこと」

「それぞれが関心を持って、みんなで考え活動を広げていくこと」

「みんなで役割を分担をしていくこと」

「わたっこクラブ」のお母さんたちのように、ゆったりと思いを話せる場、聞いてもらえる場があり、同じ悩みを持った仲間と楽しく活動し、いざ！というときや困ったときに近くに相談できる人・場所があることは、家族みんなの安心した生活につながると感じました。

常会やデイサービスの企画・準備などは、平日に行われるのでお母さんたちの活動がメインになりますが、サポートが必要なお子さんやお父さんや兄弟などの家族みんなの活動ということもよくわかりました。

夏のデイサービスなどには多くのボランティアが関わっています。活動に興味を持たれた方は、一度覗いてみてはいかがでしょうか。

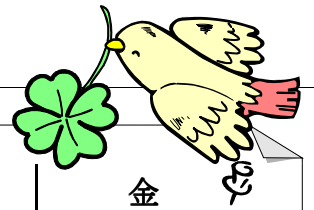
年に6回、会報担当の会員が作成し、発行している手作りの会報は、それぞれのお母さんにより個性がでてステキです。市役所や関係機関にも配っているようなのでどこかで目にする機会があるかも・・・



坂井 恵



## 外来診療のご案内



	月	火	水	木	金
<b>午前 9:00 ～</b>	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科(長谷川) 10:00～ 歯科(平岡)	小児科(石黒) 皮膚科(杉浦) 小児科(安井) (小児発達外来)	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科(野邑) <第1・3・5> 小児科(安井) (小児発達外来) 9:00～11:00	小児科(羽賀) 整形外科(栗田) 児童精神科(石井) <第2・4>	小児科(安井) 整形外科(栗田) 児童精神科 (長谷川) 10:00～
<b>午後 13:30 ～</b>	児童精神科(長谷川) 歯科(伊藤、平岡) 外来新患かフェリス 14:00～	小児科・染色体外来 (山中) <第2・4>	リハ科(岡川) 14:00～ 泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4> 児童精神科(野邑) <第1・3・5>	児童精神科(石井) <第2・4> 耳鼻咽喉科(別府) 歯科(河合) <第4>	眼科(高井) 14:00～ 小児外科 (小児外科医師) <第3> 児童精神科 (長谷川)

小児科(安井) (小児発達外来) ○平成18年4月現在の外来診療です。  
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

### 外来療育相談予定表 (2～5月)

	伊藤相談員		大橋相談員	
	午前	午後	午前	午後
2月23日(金)	○	○	2月19日(月)	○
3月2日(金)	○	○	2月26日(月)	○
3月9日(金)	○	○	3月5日(月)	○
3月16日(金)	○	○	3月12日(月)	○
3月28日(水)	○	○	3月19日(月)	○
4月6日(金)	○	○	4月9日(月)	○
4月13日(金)	○	○	4月16日(月)	○
4月20日(金)	○	○	4月23日(月)	○
4月27日(金)	○	○	5月7日(月)	○
5月11日(金)	○	○	5月15日(火)	○
5月18日(金)	○	○	5月21日(月)	○
5月25日(金)	○	○	5月28日(月)	○



- 名鉄犬山線 中小田井駅下車(新名古屋駅から犬山方面普通電車に乗り、4つ目の駅。所要時間9分) 徒歩で約3分。
- 地下鉄鶴舞線 上小田井駅下車 徒歩で約13分。
- 一宮方面からは、国道22号を「古城1」で左折、4つ目の信号「中小田井4」を右折し、2つ目の信号を左折してすぐ左側。
- 桶JCT方面からは、東名阪自動車道 山田東インターを降りて約10分。
- 四日市方面からは、東名阪自動車道 平田インターを降りて約5分。

担当 **伊藤相談員**  
 地区 津島市、弥富市、海部郡(七宝町、甚目寺町、飛島村)、北名古屋市  
 その他の市町村(名古屋市以外)

担当 **大橋相談員**  
 地区 愛西市、海部郡(美和町、大治町、蟹江町)、清須市、西春日井郡(豊山町、春日町)、名古屋市

ホームページも  
 ご覧ください

<http://www009.upp.so-net.>